

令和3年度第2回小林古径記念美術館運営委員会次第

期日：令和4年3月28日（月） ※書面開催

協議内容

- (1) 令和3年度事業の経過報告
- (2) 令和4年度の事業計画
- (3) 今後の美術館事業に対する意見徴収

小林古径記念美術館運営委員会 委員名簿

1 委員

選出区分	氏名	役職等	備考
美術文化について識見を有する人	たかはし のぶお 高橋 信雄	小林古径保存会	委員長
	かわさき ひかり 川崎 日香湊	日本画家	
学校教育及び社会教育に精通する人	いからし しほ 五十嵐 史帆	上越教育大学教授（美術教育）	副委員長
	おおつか あきら 大塚 啓	清里中学校校長 上越美術教育連盟副会長	
公募に応じた市民	のだ えみこ 野田 栄美子		

2 任期

令和3年4月1日～令和5年3月31日（2年間）

令和3年度小林古径記念美術館事業の経過報告

1. 展覧会事業

①展覧会開催事業

展覧会名	会期	内容	入館者数
企画展「古径と院展の作家たち」	4月1日(木) ～6月20日(日)	所蔵品を中心に、日本美術院で活躍した作家の作品を22作家・57点展示。院展作家の多様な作品を通して、日本美術院と古径の関わりを紹介した。	3,257人
企画展「生誕90年 岩野勇三彫刻展 人間へのまなざし」	7月3日(土) ～9月20日(月・祝)	生誕90年を迎える上越市出身の彫刻家・岩野勇三の初期から晩年までの作品を展示し、その作品世界を紹介する。高田城址公園内の彫刻作品も合わせて紹介した。	2,312人
開館1周年記念「永青文庫所蔵近代日本画名品展」	10月2日(土) ～11月23日(火・祝)	開館1周年を記念し、永青文庫所蔵の近代日本画コレクションを展示する。古径の代表的作《髪》(重要文化財)や《孔雀》をはじめ、横山大観や下村観山、鏑木清方などの作家の作品を展示した。	8,195人
上越市美術展覧会 第50回記念企画特別展	12月4日(土) ～12月26日(日)	上越市美術展覧会(市展)は、令和3年に第50回を迎える。これを記念して、今年度の優秀作品を展示した。 (会期中入館無料)	1,207人
コレクション展 「白の世界」	令和4年 1月4日(火) ～3月13日(日)	降雪の多い当市の冬は雪によって一面「白の世界」となる。その白い世界は芸術家たちに大きなインスピレーションを与えた。本展では所蔵品を中心に雪や白にちなんだ作品を紹介した。	1,200人 (見込み) ※開催中
生誕100年 富岡惣一郎展	3月26日(土) ～6月19日(日)	雪国の情景を独自の技法で表現した当市出身の油彩画家・富岡惣一郎の生誕100年を記念して、当館所蔵品を中心に富岡の画業を紹介する。また、上越市役所など市内の施設に設置されている富岡作品をあわせて紹介する。	-

②館外展示

展覧会名	会期	内容	入館者数
勇三のふるさと・大島区さとがえり展	7月10日(土) ～7月18日(日)	「岩野勇三彫刻展」開催に合わせ、勇三の故郷大島区大平にて小品、デッサン、レリーフ17点を展示。17日(土)に作品鑑賞会と岩野勇三に関する映像の放映会を行う。	227人

2. 教育普及事業

① 展覧会関連イベント

イベント名	開催日	会場	内容	参加者数
○古径と院展の作家たち 関連イベント				
映像で偲ぶ古径忌	4月3日(土) 第1回:午前10時~11時 第2回:午後2時~3時	二ノ丸ホール	古径忌にちなみ、学芸員による解説の後に古径に関する映像(画の求道者)を放映し、古径の人となりを紹介した。	15人
学芸員とめぐる古径邸・庭園ツアー	5月4日(火・祝) 第1回:午前10時~11時 第2回:午後2時~3時	古径邸 画室 庭園	古径邸・画室の建築の見どころを学芸員が紹介しながら、古径邸庭園で見ごろを迎えた山ツツジ等の植物を鑑賞した。	35人
みんなで「きつぷ★アートチャレンジ」	5月5日(水・祝) 第1回:午前10時~11時30分 第2回:午後2時~3時30分	展示室 古径邸 庭園	学芸員と一緒に鑑賞ガイドを使用しながら学芸員と一緒に美術館内をめぐり、古径や日本画の画材について学んでもらった。	10人
学芸員によるギャラリートーク	4月29日(木・祝) 5月16日(日) 5月30日(日) 6月6日(日) 6月13日(日) (全5回) 午後1時30分~	展示室	学芸員による作品解説を行った。	35人
○岩野勇三彫刻展 人間のへのまなざし 関連イベント				
学芸員による作品鑑賞会	7月3日(土) 8月14日(土) 午後1時30分~2時30分	展示室	学芸員による作品解説を行った。	29人
岩野勇三映像放映会	7月3日(土) 7月17日(土) 8月14日(土) 8月28日(日)	二ノ丸ホール	岩野勇三のインタビュー番組「この道ひとすじ」(JCV・昭和62年)を放映し、岩野の人となりや制作に対する姿勢等の理解を深めた。	46人
座談会「彫刻の魅力を語ろう」	7月10日(土) 午後2時~3時	二ノ丸ホール	上越市ゆかりの彫刻家から制作技法や魅力を紹介してもらった。 講師:濱口剛氏(上越美術協会会長)、横尾元則氏(県展参与)、本間公司氏(県彫刻会会長)	20人
ブロンズコーナー 彫刻清掃&鑑賞会	7月17日(土) 8月28日(土) 午前9時~10時30分	高田城址公園 ブロンズコーナー	公園内の岩野作品を清掃し磨いた後、作品を鑑賞した。清掃しながら彫刻に触れてもらうことで、造形美を体感してもらった。 協力:上越教育大学彫刻研究室	14人
子ども講座「彫刻ってナンだ? 作品作りにちょうせん!」	8月22日(日) 午前9時30分~正午	二ノ丸ホール	展示室内や公園内の作品を鑑賞した後、自由に想像をふくらませて、粘土で作品作りをした。 講師:大塚啓氏・大竹裕範氏(上越美術教育連盟会員)	9人

○永青文庫所蔵 近代日本画名品展関連イベント				
学芸員によるギャラリートーク	前期：10月3日、24日 後期：11月7日、11月21日 (全4回) 各回日曜日午後1時30分～	展示室	学芸員による展覧会の概要紹介、作品解説を行った。	75人
秋の美術館コンサート「ハープで奏でるジャズと映画音楽」	10月17日(日) 午後2時～	二ノ丸ホール	スタンダードジャズや映画音楽などの演奏によって、美術館での昼のひと時を楽しんだ。 演奏：Harp Jazz 協賛：Jマテ.ホールディングス株式会社	78人
作品を見て秋の和菓子をつくろう	10月30日(土) 午前10時～ 午後2時～	二ノ丸ホール	作品鑑賞後、親子で作品をイメージした秋にちなんだ和菓子作りを行った。 講師：宮越雅士氏(大杉屋惣兵衛仲町工場長)	32人
記念講演会 「永青文庫の近代日本画コレクション 細川護立と画家たちの交流」	11月13日(土) 午後2時～	二ノ丸ホール	舟串彩氏(公益財団法人永青文庫学芸員)による記念講演会を行い、永青文庫創設者の細川護立と近代日本画家の関係を紹介した。	41人
日本画鑑賞と魯山人の器で楽しむ特別懐石料理	11月1日、8日、15日(全3回) 昼の部 午前11時～午後1時30分 夜の部 各回月曜日午後5時～8時	古径邸画室	紅葉が美しい美術館庭園の中で、近代日本画の名品鑑賞と懐石料理を味わってもらった。 美術館休館日に設定し、ゆったりと鑑賞できるよう設定した。 主催：小林古径記念美術館・Jマテ.ホールディングス株式会社 協賛：岩の原葡萄園	54人
庭園紅葉 ライトアップ	11月9日(火)～11月23日(火)	古径邸庭園内	紅葉の時期にあわせて、小林古径邸庭園内をライトアップし、庭園の魅力を紹介した。期間中は午後7時まで延長開館した。	252人
○白の世界				
美術館キャンドルナイト	2月11日(祝) ※新型コロナウイルス感染拡大に伴い中止	美術館	古径の生誕日を記念し、入館料を無料とするほか、庭園内に雪灯籠を灯し、美術館を彩る。 画室では、雪にちなんだ和菓子と抹茶の販売を行う。	-

②その他の美術館主催イベント・サービス

イベント名	開催日	会 場	内 容	参加者数
どようワークショップ	会期中の土曜日 午前10時～正午 (全38回開催計画のうち、新型コロナウイルスの影響により9回中止)	二ノ丸ホール	子どもから大人まで気軽に楽しめるワークショップを土曜日午前に開催。展示作品や季節に合わせ内容を変え、美術館に親しみを感じてもらおう契機とした。	175人 (28回/29回) ※3/9現在
よちよちタイム	開館中の火曜日 午前9時～正午 (12月～3月は10時～正午) (全42回開催計画のうち、新型コロナウイルスの影響により2回中止)	二ノ丸ホール	未就学児の保護が気兼ねなく美術館で作品鑑賞をしてもらうことを目的に実施。火曜日の午前中を「よちよちタイム」とし、保護者1名無料とした。ホール内に自由に遊べるおもちゃや絵本を用意した。	88人 (40回)
こどものための美術館ガイド「きっず★アートチャレンジ」	-	美術館内	小林古径のこと、美術館に展示している作品のこと、日本画の絵の具に関する問題を解き、美術館に親しみを持ってもらうための子ども向けの取り組み。	356人
スマートフォン向けアプリ「ポケット学芸員」	-	-	展示作品画像や解説を、どこでも自分のスマホから楽しむことができるアプリ。 展示室にある解説文や作品画像を拡大して表示することができ、展覧会によっては翻訳した作品解説を英文で楽しむことができる。	-

③上越教育大学との連携事業

「ヨリ・ミチ図工室」

平日の放課後に子どもが主体的に造形活動をする場所、材料、道具、きっかけを提供することを目的として、平成29年に始動。今年で5年目の実施となった。

人数：A組：20名、B組：20名

(附属小学校・大町小学校・大手町小学校・稲田小学校・春日新田小学校・国府小学校)

場所：二ノ丸ホール

時間：16時～18時

No.	テーマ	日時	活動内容	参加人数
1	美術館探検と名札づくり	6月2日(水) 6月16日(水)	<ul style="list-style-type: none"> ・「古径と院展の作家たち」鑑賞 ・ろうそくやクレヨンで好きな形や線を自由に描き、色水を塗り、すてきな紙をつくる(はじき絵) ・丸く切り抜き、自分の名前をスタンプして、缶バッジにする 	A組:18人 B組:20人
2	うみかぜモビール	7月7日(水) 7月21日(水)	<ul style="list-style-type: none"> ・海の生き物たちをモチーフに、キラキラしたスパンコールなどで飾ってモビールを作る 	A組:20人 B組:20人
3	フキダシ美術館	9月1日(水) 9月15日(水)	<ul style="list-style-type: none"> ・「岩野勇三彫刻展」を鑑賞 ・展示作品画像を用いた物語づくり 	県特別警報 発令に伴う 臨時休館の ため中止
4	がんぎをかざろう！	10月6日(水) 10月20日(水)	<ul style="list-style-type: none"> ・「永青文庫展」(前期展)鑑賞 ・カラービニールひもで美術館前長郎を飾り付ける 	A組:19人 B組:16人
5	遊んで★日本画	11月10日(水) 11月17日(水)	<ul style="list-style-type: none"> ・「永青文庫展」(後期展)鑑賞 ・日本画キットを紹介し、日本画の画材について学んだあとに、はがきサイズのぬり絵に挑戦する 	A組:18人 B組:20人
6	トラのカレンダーづくり	12月8日(水) 12月15日(水)	<ul style="list-style-type: none"> ・ステンシルの技法を用い、トラの絵のあるカレンダーを作成する 	A組:20人 B組:19人

④出張授業

出張授業

No.	団体・学校名	期 日	内 容	参加者数
1	新道地区公民館 「新道キッズ体験教室」	7月29日(木)	・日本画キットを紹介しながら、日本画の歴史や材料、道具について学んだ。 ・色紙に「夏」をテーマに絵を描き、日本画の絵の具で彩色した。	10人
2	北諏訪地区公民館	11月15日(金)	・展覧会で作品鑑賞をした後に、和紙はがきに日本画絵具で小林古径作品の塗り絵をした。	9人
3	上越市立 宝田小学校3年生	11月9日(火)	・日本画キットを紹介しながら、日本画の歴史や材料、道具について学んだ。 ・和紙はがきに日本画絵具で小林古径作品の塗り絵をした。	26人 児童13人 保護者13人
4	上越市立 柿崎中学校2年生	11月10日(水)	・日本画キットを紹介しながら、日本画の歴史や材料、道具について学んだ。 ・和紙はがきに日本画絵具で小林古径作品の塗り絵をした。	57人
5	高田特別支援学校高等部	1月11日(火)	・日本画キットを紹介しながら、日本画の歴史や材料、道具について学んだ。 ・和紙はがきに日本画絵具で小林古径作品の塗り絵をした。	17人
6	上越市立 稲田小学校4年生	1月21日(金)	・古径作品鑑賞し、古径について学んだ。 ・和紙はがきに日本画絵具で小林古径作品の塗り絵をした。	57人
7	高田特別支援学校高等部	2月1日(火)	・小林古径について学んだ。 ・原寸大複製画《今昔物語》を鑑賞した。	17人
合計				193人

④出張授業・画材貸出

◆教材キット内容

小林古径が使用したものに近い筆、絵具を揃えた。使用キットは人数に応じて用意する。

キット種類	内 容
見本キット(木箱入り)	岩絵具原石7種、筆原材料5種、紙原材料4種、岩絵具6種、墨、硯、金泥、金箔、銀箔、膠、筆、和紙、絹、ルーペ
使用キット	岩絵具セット2箱、水干絵具セット2箱、胡粉、顔彩セット2箱、墨、硯、筆、金箔、銀箔、箔切、箔はさみ、箔切台、砂子筒4本、砂子巻棒、絵皿、乳鉢・棒、筆洗い、膠鍋、匙、電熱器、膠、新鳥の子紙
日本画制作過程見本	写生から小下図、下図写しを経て骨描き、彩色、仕上げに至るまでの過程(8工程)を見本(F6サイズボード)で示す。
原寸大デジタル複製画	小林古径の複製画を貸与する。貸与点数は一度に約5点までとする。

貸し出し状況

No.	団体・学校名	期 日	内 容
1	洞谷垂里佐氏 (上越教育大学教授)	4月20日(火)～ 4月22日(木)	大学の講義で使用するため、日本画キット貸出
2	洞谷垂里佐氏 (上越教育大学教授)	5月28日(金)～ 5月29日(土)	大学で行う公開講座に使用するため、日本画キット貸出

⑤団体見学

No.	団体・学校名	期 日	内 容	人数
1	日本旅行	4月2日(金)	観桜会期間中の延長開館にあわせて、夜桜と美術館を楽しむツアー。学芸員による解説	18人
2	神姫バス	4月8日(木)	観桜会期間中の延長開館にあわせて、夜桜と美術館を楽しむツアー。学芸員による解説	12人
3	神姫バス	4月9日(金)	観桜会期間中の延長開館にあわせて、夜桜と美術館を楽しむツアー。学芸員による解説	11人
4	日本旅行	4月11日(日)	観桜会期間中の延長開館にあわせて、夜桜と美術館を楽しむツアー。学芸員による解説	15人
5	フリーウェイツアー	4月12日(月)	観桜期間中の桜と美術館を楽しむツアー。学芸員による解説	7人
6	富岡小学校	5月6日(木)	全校遠足のチェックポイントとして利用(班別行動)	96人
7	大潟町中学校1年生	5月13日(木)	学芸員による解説	34人
8	大潟町中学校1年生	5月14日(金)	学芸員による解説	34人
9	官公庁連絡協議会	5月18日(火)	学芸員による解説	16人
10	八千浦地区公民館	6月10日(木)	学芸員による解説	12人
11	上越高校3年生	7月15日(木)	学芸員による解説	51人
12	上越高校3年生	7月16日(金)	学芸員による解説	28人
13	柿崎地区公民館	8月5日(木)	学芸員による解説	18人
14	新道地区公民館	8月19日(木)	まち巡り講座の一環	11人
15	上越総合技術高校	8月31日(火)	学芸員による解説	51人
16	上越総合技術高校	9月1日(水)	学芸員による解説	30人
17	上越高校3年生	9月9日(木)	学芸員による解説	18人
18	高田法人会	10月5日(火)	学芸員による解説	28人
19	直江津金葉会	10月10日(日)	学芸員による解説	24人

20	長岡市立旭丘中学校	10月13日(水)	修学旅行	92人
21	新潟江南高校2年生	10月6日(水)	修学旅行	43人
22	トラムスはるかぜツアー	10月20日(水)	学芸員による解説	19人
23	シルバー人材センター女性部	10月21日(木)	学芸員による解説	26人
24	柏崎 美楽会	10月22日(金)	学芸員による解説	20人
25	直江津ロータリークラブ	10月26日(火)	学芸員による解説	6人
26	三条市建設設計協同組合	10月29日(金)	学芸員による解説	12人
27	北諏訪地区公民館	11月5日(金)	展覧会の鑑賞と日本画体験	9人
28	能生地区老人会	11月5日(金)	展覧会の見学	20人
29	大島地区公民館	11月6日(土)	学芸員による解説	19人
30	観光コンベンション「小さな旅」	11月7日(日)	学芸員による解説	2人
31	潮陵中学校	11月11日(木)	展覧会の見学	13人
32	ギャラリー祥ツアー	11月11日(木)	学芸員による解説	18人
33	春日地区公民館	11月12日(金)	学芸員による解説	20人
34	大潟地区公民館	11月17日(水)	学芸員による解説	29人
35	くびきグリーンツアー	11月17日(水)	学芸員による解説	29人
36	新潟交通くれよん	11月17日(水)	学芸員による解説	35人
37	能生地区公民館	11月18日(木)	学芸員による解説	15人
38	くびきグリーンツアー	11月18日(木)	学芸員による解説	29人
39	新潟県博物館協会	11月19日(金)	学芸員による解説	18人
40	新潟交通くれよん	11月22日(月)	学芸員による解説	35人
41	妙高市立新井小学校6年生	12月17日(金)	学芸員による解説	76人
42	関根学園高等学校3年	12月21日(火)	学芸員による解説	19人
43	八千浦小学校	1月19日(水)	学芸員による解説	26人
44	稲田小学校	1月21日(金)	偉人学習、日本画体験	61人
45	有田小学校	2月3日(木)	偉人学習、展覧会の鑑賞	117人
46	春日小学校4年生	3月4日(金)	美術館見学	120人

⑥博物館実習の受け入れ（上越市立歴史博物館との共同事業）

実習日：8月3日（火）～8月7日（土）5日間

実習者：1人（京都女子大学文学部史学科4年）

3. 調査研究事業等

①講演会講師・原稿執筆

No.	団体・書籍名等	期 日	内 容	人数
1	上越タイムス 紙上連載	4月29日(木) 5月2日(日) 5月5日(水) 5月7日(金) 5月9日(日)	小林古径記念美術館展示作品紹介 「古径と院展の作家たち」(全5回) 小川陽子	-
2	五智歴史の里協議会 (五智歴史の里会館)	6月19日(土)	第97回文化講演会 「戦時中の小林古径」 笹川修一	30人
3	新潟日報紙上記事	8月4日(水)	展覧会へようこそ 「生誕90年岩野勇三彫刻展」 市川高子	-
4	新潟日報紙上記事	10月22日(金)	展覧会へようこそ 「永青文庫所蔵近代日本画名品展」 笹川修一	-

②図録作成・原稿執筆等

No.	書籍名等	発 行	編集担当	執筆内容
1	生誕90年 岩野勇三彫刻展	小林古径記念 美術館	市川高子 伊藤舞実	「岩野勇三における民俗的主題の作品について」(市川高子) 各章解説、年譜等
2	永青文庫所蔵 近代日本画名品展	小林古径記念 美術館	笹川修一 小川陽子	「細川護立と小林古径」(笹川修一) 各章解説、作品解説、年譜等
3	生誕100年 富岡惣一郎展 (令和4年度)	小林古径記念 美術館	小川陽子 市川高子	各章解説、作品解説等
4	生誕100年 斎藤真一展 (令和4年度)	小林古径記念 美術館	笹川修一	「音楽を奏でる絵画」(笹川修一) 各章解説、作品解説、年譜等

※「生誕100年富岡惣一郎展図録」及び「生誕100年斎藤真一展図録」は3月納品に向けて作成中

4. 収集保管事業

①作品・資料の収集

寄贈作品

No.	分類	作家名	作品名	制作年	材質技法	員数
1	日本画	梶田 半古	観音	明治末～大正初	絹・彩色	1 幅
2	日本画	梶田 半古	春江	明治末～大正初	絹・彩色	1 幅
3	日本画	梶田 半古	采菊図	明治 30 年代	絹・彩色	1 幅
4	日本画	梶田 半古	和気清麻呂	明治末～大正初	絹・彩色	1 幅
5	日本画	梶田 半古	勿来関	明治末～大正初	絹・彩色	1 幅
6	日本画	梶田 半古	官女と猫	明治末～大正初	絹・彩色	1 幅
7	日本画	梶田 半古	六歌仙	1908	絹・彩色	1 幅
8	日本画	梶田 半古	蹴鞠	明治末～大正初	絹・彩色	1 幅
9	日本画	梶田 半古	音呼	明治末～大正初	絹・彩色	1 幅
10	日本画	梶田 半古	勿来之関	明治末～大正初	絹・彩色	1 幅
11	日本画	石塚 仙堂	春暁蓬莱山之図	1933 年	紙・彩色	1 幅
12	油彩画	村山 陽	名立・荒海・二月	2001 年	紙・パステル	1 面
13	素描	牧野 虎雄	画帖		紙・墨	5 冊
14	彫刻	岩野 勇三	服を脱ぐ女	1959 年	木彫	1 点
15	彫刻	岩野 勇三	父	1969 年	ブロンズ	1 点
16	彫刻	岩野 勇三	Lament	1971 年	ポリエステル	1 点
17	彫刻	岩野 勇三	くみ	1975 年	ブロンズ	1 点
18	彫刻	岩野 勇三	りか	1982 年	ブロンズ	1 点
19	彫刻	岩野 勇三	さなえ	1979 年	ブロンズ	1 点
20	彫刻	岡本 鍊二	座る女	1975 年	ポリエステル	1 点
21	陶芸	齋藤 三郎	白磁面取花瓶		磁器	1 口
22	陶芸	齋藤 三郎	辰砂こぶし文壺		磁器	1 口
23	陶芸	齋藤 三郎	染附辰砂木蓮文壺		磁器	1 口
24	陶芸	齋藤 三郎	陰刻牡丹文黄釉花瓶		磁器	1 口
25	工芸	鈴木 六衛	しじまⅡ	1990 年	陶・ステンレス	1 点

寄託作品

No.	分類	作家名	作品名	制作年	材質技法	員数
1	西洋画	モーリス・ユトリロ	クレミューの教会	1928年	カンヴァス・油彩	1面
2	西洋画	マリー・ローランサン	花束	1937年	カンヴァス・油彩	1面
3	西洋画	カール・ドービニー	風景（仮題）	1878年	カンヴァス・油彩	1面
4	西洋画	ジュール・デュプレ	川辺の牛の群れ		カンヴァス・油彩	1面
5	日本画	小林 古径	蓼（習作）	昭和20年代	紙・彩色	1幅
6	日本画	小林 古径	唐黍（扇面）	大正4年頃	紙・彩色	1面
7	日本画	小林 古径	鶴	1927年頃	絹・彩色	1幅
8	日本画	安田 靱彦	紅花青華	1967年	紙・彩色	1面
9	日本画	大山 忠作	彩鱗		紙・彩色	1面
10	日本画	奥村 土牛	牡丹		絹・彩色	1幅
11	日本画	加山 又造	魚		紙・彩色	1面
12	日本画	北大路 魯山人	鳥かすみ網図		紙・彩色	1幅
13	陶芸	齋藤 三郎	色絵椿文八角花瓶	1975年	色絵磁器	1口
14	陶芸	齋藤 三郎	色絵辰砂椿文大壺	1975年	色絵磁器	1口
15	陶芸	齋藤 三郎	色絵椿文大壺	1970年頃	色絵磁器	1口
16	陶芸	齋藤 三郎	色絵雪椿文飾皿	1966年頃	色絵磁器	1枚
17	陶芸	齋藤 三郎	色絵椿文壺	1975年	色絵磁器	1口
18	陶芸	齋藤 三郎	白磁壺	1965年頃	磁器	1口
19	陶芸	齋藤 三郎	白磁壺	1962年	磁器	1口
20	陶芸	齋藤 三郎	白磁壺	1970年頃	磁器	1口
21	陶芸	齋藤 三郎	白磁花瓶	1970年頃	磁器	1口
22	陶芸	齋藤 三郎	白磁牡丹刻文香炉	1970年頃	磁器	1口
23	陶芸	齋藤 三郎	白釉花瓶		陶器	1口
24	陶芸	齋藤 三郎	色絵椿文徳利	1965年頃	色絵磁器	1口
25	陶芸	齋藤 三郎	辰砂鉄絵牡丹文大皿	1965年頃	陶器	1枚
26	陶芸	齋藤 三郎	色絵木瓜文大皿	1975年	色絵磁器	1枚
27	陶芸	齋藤 三郎	色絵椿文飾皿		色絵磁器	1枚
28	陶芸	齋藤 三郎	色絵椿文陶板		色絵磁器	1枚
29	陶芸	齋藤 三郎	色絵こぶし文陶板		色絵磁器	1枚

所管替え作品

文化振興課から峯田敏郎彫刻作品 40 点

以上 94 件

（内訳）西洋画 4 件、日本画 19 件、油彩画 1 件、素描 1 件、彫刻 47 件、陶芸 21 件、工芸 1 件

②作品・資料の貸与

展覧会名等	作家名	貸出作品	貸出期間
○上越市立歴史博物館			
「常設展 第一期」 会期: 3月19日(金) ～6月28日(月)	斎藤真一	《明星 妙高谷『越後瞽女日記』》、《杉本瞽女しま》、 《瞽女 キクエと桜》、《待合所にて「瞽女」『越後瞽女日記』》	3月19日(金) ～6月28日(月)
「常設展 第二期」 会期: 6月29日(火) ～9月15日(水) 予定	斎藤真一	《鷺口の雷『越後瞽女日記』》 《佐久の旦那『越後瞽女日記』》 《瞽女唄『越後瞽女日記』》	6月28日(月) ～9月15日(水)
「常設展 第三期」 会期: 9月15日(水) ～12月22日(水) 予定	斎藤真一	《瞽女 杉本キクエ》、《杉本キクエ旅姿『越後瞽女日記』》、 《赤倉瞽女『越後瞽女日記』》 《かとうの死『越後瞽女日記』》	9月14日(火) ～12月22日(水)
「常設展 第四期」 会期: 12月22日(水) ～3月28日(月) 予定	斎藤真一	《西頸城の瞽女『越後瞽女日記』》 《三人瞽女『越後瞽女日記』》 《西頸城 能生の駅・待合い室にて『越後瞽女日記』》	12月21日(火) ～3月29日(火)
○特定非営利活動法人高田瞽女の文化を保存・発信する会 (会場: 瞽女ミュージアム高田)			
「春の企画展」 会期: 4月1日(木) ～5月5日(水)	斎藤真一	《あげ石瞽女・神保瞽女一覧『越後瞽女日記』》 《かとうの死》	3月31日(水) ～5月6日(木)

令和3年度 小林古径記念美術館企画展別入館状況

令和4年3月9日現在

企画展名	会期	開催日数	一般				計	日平均	目標入館者数
			有料	無料	有料	無料			
古径と院展の作家たち	4/1～6/20	73日	2,071人	798人	25人	363人	3,257人	44.6人	8,500人
生誕90年 岩野勇三彫刻展	7/3～9/20	62日	1,186人	726人	179人	221人	2,312人	37.3人	5,300人
永青文庫所蔵 近代日本画名品展	10/2～11/23	45日	6,383人	1,395人	102人	315人	8,195人	182.1人	8,500人
上越市美術展覧会50回記念企画特別展	12/4～12/26	20日	0人	977人	0人	230人	1,207人	60.4人	1,000人
コレクション展「白の世界」※開催中	1/4～3/13	55日	593人	212人	10人	355人	1,170人	21.3人	1,700人
生誕100年富岡惣一郎展 ※準備中	3/26～3/31 (会期は6/19まで)								
合計		255日	10,233人	4,108人	316人	1,484人	16,141人	63.3人	25,000人
			14,341人		1,800人				

有料計	10,549人
無料計	5,592人

有料率 65.4%

※「岩野勇三彫刻展」9/3(金)～9/16(木)は新型コロナウイルス感染症拡大による新潟県特別警報発令のため臨時休館

※「永青文庫展」は前期展入館券の半券提示により、後期展の入館を団体割引料金とした

※「上越市美術展覧会第50回記念企画特別展」は無料開館

※「白の世界」は1/4～3/9までの集計(開館日数も3/9現在)

※「富岡惣一郎展」は当初4/1からの計画だったが、観桜会が前倒しとなったことから観桜会の会期にあわせて3/26から開催

令和4年度 小林古径記念美術館 事業内容一覧

展覧会名	生誕100年 富岡惣一郎展 白、追い求めて	生誕100年 斎藤真一展 賢女と郷愁、さすらい	新潟大学教育学部高田分校芸能科の記憶	かわいい美術	新収蔵品展(令和5年度)
会期	令和4年4月1日～6月19日	令和4年7月2日～9月25日	令和4年10月8日(土)～12月18日(日)	令和5年1月4日(水)～3月12日(日)	令和5年3月25日(土)～6月25日(日)
日数	72日間 (観覧会・ゴールデンウィーク期間中は無休)	79日 (観覧会期間中は無休)	60日	58日	77日 (観覧会・ゴールデンウィーク期間中は無休)
内容	雪国の情景を独自の技法で表現した当市出身の油彩画家・富岡惣一郎の生誕100年を記念して、当館所蔵品を中心に富岡の画業を紹介する。また、上越市役所など市内の施設に設置されている富岡作品をあわせて紹介する。	高田賢女を約10年間にわたり取材して「越後賢女日記シリーズ」を描いたことで知られている当市ゆかりの油彩画家・斎藤真一の生誕100年を記念して、当館所蔵の作品を中心に初期から晩年までの作品を展示する。	新潟大学教育学部高田分校教育学部芸能科で教鞭を取った教員たちの作品と卒業生の多彩な作品を展示し、かつてこの地にあった新潟大学高田分校芸能科の記憶をたどる。	当館作品の中から「かわいい」という視点で作品をセレクトし紹介する。また、本展では「高校生キュレーター」として市内高校生と連携し、広報活動やイベント等の事業を実施する。	令和2年の閉館以来、多くの方々から美術作品の寄贈・寄託を受けた。本展では絵画や彫刻、工芸などバラエティに富んだ新収蔵品を一堂に展示する。
展示内容	展示構成 (1) 「白の世界」へ (2) 内面世界へ (3) 新たな画壇へ (4) 特集：上越市内の公共施設でみられる富岡作品 ※当館所蔵品を展示	展示構成 (1) 初期作品から (2) 「越後賢女日記」の誕生 (3) 吉原遊女と昭和ロマン、さすらい ※当館所蔵品を中心に展示	展示構成 (1) 芸能科の教員たち―「芸術を通しての教育」を目指して (2) 芸能科を巣立った卒業生たち	展示構成 (1) ゆるキャラ、発見！ (2) いきもの、登場！ (3) ちいさなもの、あつまれ！ ※当館所蔵品を展示	展示構成 近年の新収蔵品を紹介する ・ユトリロ《クレミュー教会》 ・安田叔彦《紅花青花》 ・斎藤三郎《色絵辰砂椀文大壺》 ・村山陽《名立・荒海・二月》 ほか ※当館所蔵品を展示
展示点数	約50点	約50点	約70点	約45点	約60点
会期中の主なイベント	(1) 学芸員とめぐる「市役所所蔵の富岡作品ツアー」 日時：5月17日(火) 13:20～14:30 対象：一般10名(事前申し込み) 料金：無料 会場：市役所各所 上越文化会館 (2) ボランティアスタッフによるトミオカ茶席 日時：3月26日(土)・27日(日)、4月2日(土)・3日(日) 対象：どなたでも(事前申し込み不要) 料金：700円 会場：小林古径邸本邸 (3) 学芸員によるギャラリートーク 日時：4月24日(日)、5月15日(日)、5月29日(日)、6月5日(日) 14:00～15:00 対象：どなたでも(事前申し込み不要) 料金：無料(要入館料) (4) 飛雪忌 富岡惣一郎の命日を偲び、展覧会入館者先着100名に富岡惣一郎の《妙高山》絵葉書を1枚プレゼントする。 期日：5月31日(火)	(1) 学芸員によるギャラリートーク 日時：7月23日(土)、8月13日(土)、9月17日(土) 14:00～15:00 対象：どなたでも(事前申し込み不要) 料金：無料(要入館料) 会場：二ノ丸ホール (2) 目の不自由な人への鑑賞会 斎藤真一が盲目の女性である高田賢女を描いたことになみ、目の不自由な方へ触図を活用した作品鑑賞会を開催する。 日時：7月30日(土) 午後2時から 対象：検討中 会場：二ノ丸ホール及び展示室 参加料：無料 ※新潟県立歴史博物館との連携事業 (3) 7月6日は斎藤真一の生誕日を祝して入館者先着100名に斎藤真一オリジナルグッズをプレゼントする。 (協賛：ギャラリー朱雀院)	(1) 記念講演会(予定) 日時：10月16日(日) 14:00～15:30 対象：一般40名(事前申し込み) 料金：無料(要入館料) 講師：宮田亮平氏(元文化庁長官、元新大芸能科助手) 会場：二ノ丸ホール (2) 美術館アートまつり ～復活！高田分校 学園祭～ 日時：11月3日(木・祝) 9:00～12:00、13:00～16:00 対象：どなたでも 100名(先着順) 料金：500円(材料費) 講師：東條麗子氏(美術家)、金谷範子氏(美術家)、上越教育大学学生、市内若者有志ほか 内容：出品作家や大学生、若者有志がそれぞれの個性を生かしたミニ・ワークショップを開催。美術館を会場に、1回限りの「高田分校学園祭」を復活させる。 (3) 庭園紅葉ライトアップ 日時：11月5日(土)～11月20日(日) 16:30～19:00 対象：どなたでも 料金：無料(要入館料) 会場：庭園	(1) 「高校生キュレーター」 募集期間：6月下旬～7月末 活動期間：8月～3月末(月に1～2回程度) 対象：上越市内在住の高校生10名 料金：無料 ※活動期間はボランティア保険に加入 内容：市内の高校生がコレクション展の企画・準備に参加し、キャプションの作成、SNSでの広報活動やワークショップの企画を体験する。学芸員や作家、市民と交流しながら、アートについて学び、地元に残る宝ものの魅力に気づいてもらう。 (2) キャンドルナイト 日時：2月11日(土・祝) 16:00～19:00 荒天・小雪中止 対象：どなたでも(定員なし) 料金：入館料無料、抹茶と和菓子600円(限定70セット) 内容：雪深い高田の冬と美術館に親しむイベントとして、庭園内に雪灯籠を作る。画室で雪にちなんだ和菓子と抹茶を提供。小林古径生誕記念日にちなみ入館無料とする。	検討中
入館料	一般 510円／小・中・高生 260円 ※幼児及び上越市内の学校に通う小中学生は無料	一般 510円／小・中・高生 260円 ※幼児及び上越市内の学校に通う小中学生は無料	一般 510円／小・中・高生 260円 ※幼児及び上越市内の学校に通う小中学生は無料	一般 510円／小・中・高生 260円 ※幼児及び上越市内の学校に通う小中学生は無料 ※上越市内の18歳未満の方は無料	一般 510円／小・中・高生 260円 ※幼児及び上越市内の学校に通う小中学生は無料
その他	・上越市役所議場や廊下等にデザインされている富岡惣一郎デザインのアルミエッチング、上越文化会館緞帳《雪国》もあわせて紹介する。 ・南魚沼市トミオカホワイト美術館との相互割引を行う。	賢女ミュージアム高田との相互連携を行う。	地元で活動する関連作家をはじめ上越教育大学や市民団体と連携し、広報活動や関連イベントを行う。	若年層に向けて美術館の魅力を発信していくため、市内の小中高生および市内の18歳未満の方は無料とする。	
目標入館者数	5,000人	5,000人	5,000人	1,500人	5,000人(うち、3/25～3/31は500人と想定)